

第41回 北海道ジュニア体操競技選手権大会 開催要項

- 1 主催 北海道体操連盟
 2 後援 北海道教育委員会・苫小牧市、苫小牧市教育委員会、
 公益財団法人苫小牧市体育協会・STV・北海道新聞社
 3 主管 苫小牧体操連盟・十勝体操協会
 4 会場 道立野幌総合運動公園体育館（〒069-0832 江別市西野幌 481 TEL011-384-2166）
 5 日程 平成30年11月16日（金）～11月18日（日）

	11月16日（金）	11月17日（土）	11月18日（日）
公式練習（フリー）	9:00～	審判会議 8:30～	体操競技A・B競技
公式練習	12:00～	開始式 9:30～	閉会式 15:00～
主任審判会議	16:00～	体操競技C競技	
監督会議(ABCクラス)	17:00～		
公式練習（フリー）			

※申し込み締め切り後、班編制・時程を作成し各クラブに送付します。

6 競技方法

(1) 体操競技

① 競技種目

男子	Aクラス	ゆか・あん馬・つり輪・跳馬・平行棒・鉄棒
	Bクラス	ゆか・あん馬・つり輪・跳馬・平行棒・鉄棒
	C-1クラス	ゆか・あん馬・つり輪・跳馬・平行棒・鉄棒
	C-2クラス	マット・円馬・跳馬・鉄棒
女子	Aクラス	跳馬・段違い平行棒・平均台・ゆか
	Bクラス	跳馬・段違い平行棒・平均台・ゆか
	Cクラス	跳馬・鉄棒・平均台・マット

② 器械寸度

<男子> ☆Bクラス・Cクラスのつり輪及び鉄棒の高さはエバーマットなどの調整を認める。

種目	Aクラス	Bクラス	C-1クラス	C-2クラス	着地マットの高さ
ゆか/マット	12m×12m	12m×12m	12m×12m	長さ 15m	
あん馬	マット上から 105 cm 床面から 115 cm ※C-1 把手を外したもの			円馬	10 cmまたは 12 cm
つり輪	265 cm	265 cm	265 cm	—	18 cmまたは 20 cm
跳馬	125 cm	120 cm	110 cm	110 cm	18 cmまたは 20 cm
平行棒	187 cm	175 cm	170 cm	—	12 cm
	197 cm	185 cm	180 cm	—	20 cm
鉄棒	275 cm	275 cm	275 cm	275 cm	18 cmまたは 20 cm

※高さの変更願いについて：器械寸度の高さを変更したい、とびつき台を使用したいなどの高さ変更については、監督会議までに審判長へ申し出ること。許可については、審判長の判断とする。

※あん馬で演技開始時の補助台を使用する場合は、会場で準備したものを使用する。

<女子>

種目	Aクラス	Bクラス	Cクラス	マットの高さ
跳馬	1m25 cm	1m25 cm	1 m 1 0 cm	12 cm・20 cm
段違い平行棒	高棒-2m45 cm 低棒-1m65 cm バー間隔 最大 1m80 cm		鉄棒 床から 250 cm (エバ-マットで高さ調整)	12 cm
	高棒-2m50 cm 低棒-1m70 cm バー間隔 最大 1m80 cm			20 cm
平均台	1 m 2 0 cm			12 cm
	1 m 2 5 cm			20 cm

☆ エバ-マットの使用について

※B・Cクラスの跳馬・段違い平行棒・鉄棒・平均台において20cmのエバ-マットの使用を認める。

※B・Cクラスの段違い平行棒・鉄棒・平均台において器械の中にエバ-マットを使用することを認める。

7 競技規則

(1) 男子

- ① Aクラス : 2018年中学校男子適用規則(U-15)による自由演技とする。
- ② Bクラス : 2013年版B2クラス一部改訂規則を適用する。
- ③ C-1クラス : 2005年版日本体操協会ジュニア規定演技「Level-4」および一部改定規則を適用する。
- ④ C-2クラス : 2005年版日本体操協会ジュニア規定演技「Level-4」(一部変更)、および一部改定規則を適用する。
- ⑤ 全クラス全種目において終末の着地(ゆかは終末)を決めた場合、0.1の加点を与える。

(2) 女子

- ① Aクラス : 2017年版日本体操協会採点規則(変更規則I)による自由演技とする。
- ② Bクラス : 2017年版日本体操協会採点規則(変更規則I)を一部変更した自由演技とする。
2018.4一部改訂ルールを適用する。
- ③ Cクラス : 北海道体操連盟制定の規定演技とする。

(3) 男女とも跳馬は2本演技とする。但し、男子Aクラスは1本演技。

(4) 団体選手権は同一ユニフォームとする。

(5) 選手は所属のマークをつけること。

8 順位の決定

(1) 体操競技 団体は4人のベスト3、個人は合計得点により順位を決定する。

9 表彰

(1) 団体1位には優勝杯、1~6位に賞状を授与。(1~3位までには団体メンバーにも授与する)

(2) 個人1位には優勝杯、1~6位に賞状を授与する。

10 参加資格

(1) 本年度の選手登録を完了している小中学生とする。

(2) 参加者は必ず引率者を伴い、保護者の参加承諾書を提出すること。

11 参加制限

(1) 各クラブとも5月の登録締め切り日までに北海道体操連盟に登録した人数(大会参加枠)以内とする。

(2) 男子は過年度全道ジュニア大会で、B1クラス個人総合3位以内入賞者はAクラスに、C1クラス個人総合6位以内入賞者はBクラスに出場すること。その他については、小・中学生に限らず能力に応じて各クラスに参加できる。女子は、どのクラスにエントリーしても良い。

(3) 補欠は1チーム男女各クラス2名以内とする。但し、クラス間にまたがって補欠の登録をすることはできない。同じクラスに2チーム以上エントリーする場合、正選手はもちろんのこと補欠選手も重複できない。尚、正選手と補欠の交代は監督会議までとする。

12 参加申込

(1) 所定の申込書に必要事項を記入し、期限までに下記申込先までメールで送信すること。同時に所属長が押印した正式申込書を郵送すること。

※ 申込書等の必要書類は北海道体操連盟のホームページにありますのでダウンロードして使用してください。

(2) 抽選結果等の資料は E メールで配信するので、参加申込書に返信先 E メールアドレスを必ず記入すること

(3) 申込み締切期日 平成30年9月21日(金) 必着

(5) 申込先

〒053-0822 苫小牧市川治町3-13-16 岡林雅祥 宛

メールアドレス1 leisurely.rabbit@kde.biglobe.ne.jp

(6) 参加料4,300円(保険料を含む)は大会当日受付に納入すること(補欠を含む)。

(7) 申込者は棄権・不参加に関わらず、参加料を納入すること。

(8) 申込書記載上の注意:所属名および氏名は日本体操協会に登録したものを使用すること。

また、正式名称(アルファベットの大文字・小文字の区別も明確に)を記載すること。

氏名の漢字についても登録したものを確認のうえ記入すること。

13 派遣審判員

(1) 参加するクラブは審判員を派遣するものとする。

(2) 大会参加申込締切後に参加人数により派遣審判員の数を決定し、審判部から各クラブに連絡する。

(3) 審判員を派遣できないクラブは、次に定める負担金をもって大会本部に依頼することができる。

※ 負担金 1名につき **50,000円**

(4) 派遣審判員名の報告は平成30年10月16日(火)までに「派遣審判員報告書」をEメールで報告すること。

報告先:吉田 義経 宛 メールアドレス tsune27gym@yahoo.co.jp 携帯 090-7050-1070

14 その他

(1) ゼッケンは縦10×横13cmの白布地に男子は黒、女子は赤字で各自作成すること。

(2) プラカード、開・閉会式

① プラカードを各クラブで持参すること。横75×縦15cm高さ95cmの寸法を厳守のこと。

② 開・閉会式の入場は、各クラブ単位とする。

(3) 大会期間中に発生した傷害については、その補償を加入したスポーツ傷害保険の範囲とする。

大会参加に際しては、万一の事故発生に備えて引率者も傷害保険や賠償保険に加入しておくなど、万全の対策を講じておくこと。

(4) 男女Cクラスのマットは、タンプリング板を使用する場合もある。

(5) 男子において鉄棒の高さについては、足がマットに触れる場合は安全な高さまで調節することができる。

但し、その選手名を参加申込書に明記すること。(ジュニア採点規則により大会当日の申告は無効とする)